

(4) 学校教育学部

③ 教育実習

ア 運営・活動の状況

i) 委員会等の開催状況

学部における実習の責任体制を明確にすると共に効率的な運営を図るため、教育実習委員会に以下の部会を設置した。

- ・ 教育実地研究Ⅰ・介護等の体験専門部会

教育実習委員会委員のうち、①委員長及び副委員長、②幼稚園教育実習専門部会長、③特別支援学校教育実習専門部会長、④小学校教育実習専門部会長、⑤中学校教育実習専門部会長、⑥特別支援教育コースから選出された委員、⑦学校教育実践研究センターから選出された委員から委員長が指名する者の計16人で構成

- ・ 幼稚園教育実習専門部会

教育実習委員会委員のうち、①幼年教育コースから選出された委員、②学校教育実践研究センターから選出された委員から委員長が指名する者、及び③附属幼稚園副園長、及び④教育実習委員会委員を除く幼年教育コースの教員の計5人で構成

- ・ 小学校教育実習専門部会

教育実習委員会委員のうち、①学校教育専攻及び教科・領域教育専攻から選出された委員、②学校教育実践研究センター所属の委員から委員長が指名する者、及び③附属小学校副校長の計19人で構成

- ・ 中学校教育実習専門部会

教育実習委員会委員のうち、①学校教育専攻及び教科・領域教育専攻から選出された委員、②学校教育実践研究センター所属の委員から委員長が指名する者、及び③附属中学校副校長の計15人で構成

- ・ 保育士実習専門部会

教育実習委員会委員のうち、①幼年教育コースから選出された委員、②特別支援教育コースから選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。以下同じ）、③保育実習Ⅰ及び保育実習Ⅱ履修者の所属コースから選出された教授又は准教授の計3人で構成

- ・ 教育実習指導力補習専門部会

教育実習委員会委員のうち、①委員長及び副委員長、②小学校教育実習専門部会長及び同副部会長、③中学校教育実習専門部会長及び同副部会長、④言語系教育実践コース、社会系教育実践コース、及び自然系教育実践コースから選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。）、⑤学校教育実践研究センター所属の委員、及び⑥その他委員長が指名した者の計21人

さらに、学部における教育実習の円滑な実施を図るため、教育実習連絡会及び教育実習協力校（園）会議を設置している。

平成30年度においては、以下のとおり教育実習委員会等を開催した。

平成30年	4月4日（水）	第1回教育実習委員会
〃	4月6日（金）	第1回教育実習連絡会
〃	4月11日（水）	第1回教育実習協力校（園）会議

〃	4月13日（金）	第1回教育実習指導力補習専門部会
〃	6月4日（月）	第1回保育士実習専門部会
〃	6月26日（火）	第2回教育実習指導力補習専門部会
〃	7月24日（火）	第2回教育実習委員会
〃	9月5日（水）	第3回教育実習指導力補習専門部会
〃	11月7日（水）	第3回教育実習委員会
〃	11月15日（木）	第2回保育士実習専門部会
〃	11月26日（月）	第2回教育実習連絡会
〃	12月5日（水）	第2回教育実習協力校（園）会議
平成31年	2月4日（月）	平成30年度保育実習連絡会
〃	2月18日（月）	第4回教育実習指導力補習専門部会
〃	2月27日（水）	第4回教育実習委員会
〃	3月25日（月）	第5回教育実習指導力補習専門部会

ii) 審議された主な事項

教育実習委員会及び専門部会における主な審議事項は、以下のとおりである。

- ・ 教育実地研究Ⅰ（観察・参加）の実施及び成績評価
- ・ 教育実地研究Ⅲ（初等教育実習）の実施及び成績評価
- ・ 教育実地研究Ⅳ（中等教育実習）の実施及び成績評価
- ・ 幼稚園専修教育実習の実施及び成績評価
- ・ 保育実習の実施及び成績評価
- ・ 教育実習協力校への挨拶訪問の変更
- ・ 海外での教育実習の履修要件化及び履修した授業科目の単位化
- ・ 上越教育大学教育実習モデルの策定
- ・ 上越教育大学教育実習ルーブリックの改正
- ・ 平成31年度教育実習計画の策定
- ・ 平成31年度保育実習計画の策定
- ・ 平成31年度教育実習指導力補習（リメディアル教育）実施計画

iii) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

教育実習委員会及び専門部会における審議に基づき、以下のことについて重点的に取り組んだ。

- ・ 教育実地研究Ⅰ（観察・参加）1年次の実施（平成30年6月13日（水）、9月3日（月）～14日（金）（のうち2日間）計3日間）244人（学部167人、教育職員免許取得プログラム77人）（柏崎市立中学校8校、上越市立幼稚園等13園、小規模小学校11校（上越市、糸魚川市））
- ・ 介護等の体験（特別支援学校2日間）の実施（平成30年9月3日（月）～13日（木）（のうち2日間）、197人（学部167人、教育職員免許取得プログラム30人）（特別支援学校6校（上越市・妙高市・柏崎市））
- ・ 教育実地研究Ⅲ（初等教育実習）の実施（平成30年5月25日（金）～6月1日（金）及び8月27日（月）～9月25日（火）（分離方式4週間）、246人（学部167人、教育職員免許取得プログラム79人）（小学校70校（上越市・妙高市・糸魚川市・佐渡市・魚沼市・十日町市）、附属小学校）
- ・ 教育実地研究Ⅳ（中等教育実習）の実施（平成30年5月14日（月）～6月1日（金）（3週間）、176人（学部124人、教育職員免許取得プログラム52人）（中学校29校（上越市・妙高市・糸魚川

市)、附属中学校)

- ・ 幼稚園専修教育実習の実施(10月～11月(2週間)、学部4年13人(上越市立高田幼稚園、附属幼稚園)
- ・ 保育実習Ⅰの実施(平成31年2月12日(火)～23日(土)(10日間)、学部2年16人、保育園8園(上越市))
- ・ 保育実習Ⅱの実施(8月6日(月)～9月8日(土)(10日間)、学部2年16人、社会福祉施設9園(上越市・妙高市・柏崎市・糸魚川市))
- ・ 保育実習Ⅲの実施(8月16日(木)～9月15日(土)(10日間)、学部4年10人、保育園5園(上越市))
- ・ 保育実習Ⅳの実施(9月3日(月)～29日(土)(10日間)、学部4年7人、上越市こども発達支援センター)
- ・ 教育実地研究Ⅲ・Ⅳの教育実習協力校への挨拶訪問について、これまでは初日と最終日に行っていたが、平成31年度以降は実習校の主に校長と挨拶教員で日時を事前調整した上で挨拶訪問を1回に変更した。
- ・ 海外での教育実習の履修要件化及び履修した授業科目の単位化について検討を行い、平成31年度以降入学者から在外教育施設(日本人学校)で教育実習を実施できることとし、同施設で実施する教育実習は総合インターンシップとし教育実習委員会が単位認定を行うこととした。
- ・ 大学と附属学校が連携し、附属学校で開発した「21世紀を生き抜くための能力」育成のための教育課程モデルを踏まえた新たな教育実習モデルについて検討を行い、情報機器の特性や子供の発達段階に配慮しながら、教材が効果的に活用できるような資質・能力の育成に関する教育実習モデルを策定した。
- ・ 基礎学力不足の学生に対する組織的な取り組みとして、教育実習指導力補習専門部会において、学部1年次学生及び大学院免P受講者を対象に教育実習に行くための基礎力をつけさせるため、基礎学力点検テストを実施し、学力が不足していた学生に対し補習を行った。

イ 優れた点及び今後の検討課題等

平成31年度大学改革により、教育実習が大幅に拡大することを想定して実習校を確保するため、本学が研究を進めている遠隔教育システムの協力校である佐渡市立金井小学校、魚沼市立堀之内小学校、十日町市立十日町小学校の3校において、平成30年度から教育実習協力校として学生の受け入れを依頼し教育実地研究Ⅲ(初等教育実習)を実施した。